

交付運用報告書

GCIエンダウメント ファンド

(成長型／安定型)

成長型

第2期末 (2017年9月25日)	
基準価額	11,386円
純資産総額	1,040百万円
騰落率	5.7%
分配金	0円

安定型

第2期末 (2017年9月25日)	
基準価額	10,839円
純資産総額	2,287百万円
騰落率	1.9%
分配金	0円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

当ファンドは、信託約款において、運用報告書(全体版)に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の方法により閲覧、ダウンロードすることができます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセスし、「ファンド」から当ファンドの詳細ページを表示させ、当該ページから運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

なお、運用報告書(全体版)は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

追加型投信／内外／資産複合

第2期<決算日2017年9月25日>

作成対象期間：2016年9月27日～2017年9月25日

受益者の皆様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「GCIエンダウメントファンド(成長型／安定型)」は、2017年9月25日に第2期の決算を行いました。

当ファンドは、投資対象ファンド(投資信託証券)を通じて先進国、新興国を含む世界各国の株式、債券、REIT等に分散投資することで、グローバルな経済成長に沿った収益の獲得を目指します。また、グローバル分散投資によりポートフォリオのリスク低減を図ることとしており、かかる投資方針に沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

株式会社GCIアセット・マネジメント

東京都千代田区西神田3-8-1 千代田ファーストビル東館12F

お問い合わせ先(投資信託事業グループ)

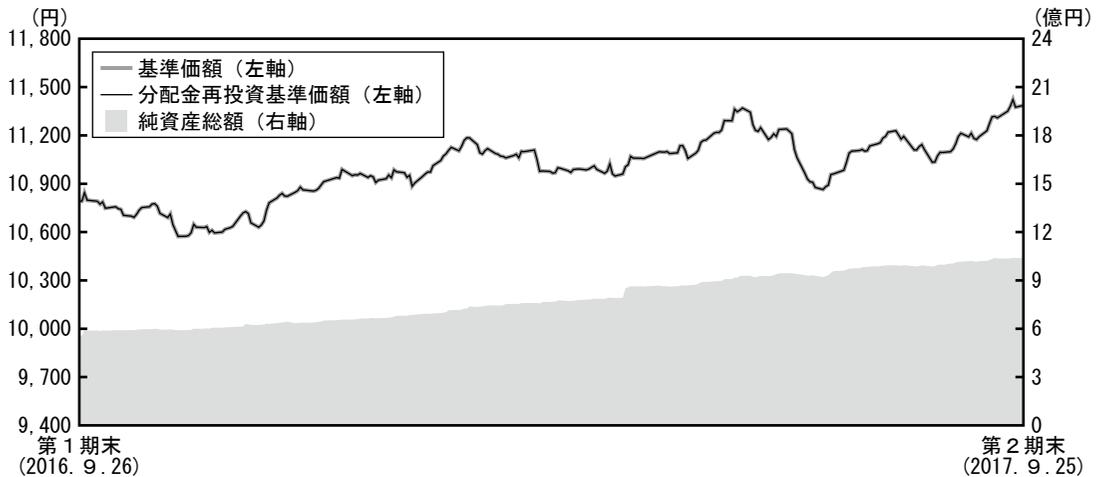
TEL: 03-3556-5540(営業日の9:00~17:00)

URL: <http://www.gci.jp/index2.html>

運用経過

（成長型）

■ 基準価額等の推移



第2期首：10,767円

第2期末：11,386円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率：5.7%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

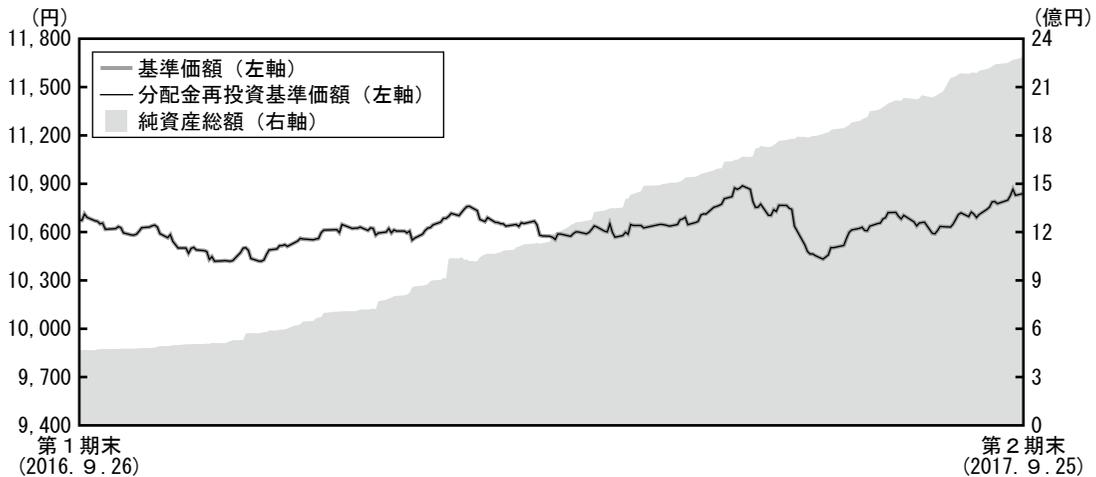
（注）分配金を再投資するか否かについてはそれぞれの受益者が利用されるコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、それぞれの受益者の損益状況を示すものではありません。

■ 基準価額の変動要因

GCIエンダウメントファンド（成長型）の基準価額は堅調に推移し、当期間のリターンは+5.7%となりました。当期間は米大統領選挙の結果を受けて一時的にボラティリティの高まる局面があったものの、トランプ大統領の政策への期待や米国の景気回復等から株式が堅調に推移し、パフォーマンスを牽引しました。当ファンドが特徴としているオルタナティブ投資は、2017年6月に比較的大きなドローダウンに見舞われたものの、その後回復し、当期間を通じてはプラスに寄与しました。くわしくは、「投資環境」をご参照ください。

（安定型）

■ 基準価額等の推移



第2期首：10,637円

第2期末：10,839円（既払分配金（税引前）：0円）

騰落率：1.9%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するか否かについてはそれぞれの受益者が利用されるコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、それぞれの受益者の損益状況を示すものではありません。

■ 基準価額の主な変動要因

GCIエンダウメントファンド（安定型）の基準価額は小幅に上昇し、当期間のリターンは+1.9%となりました。当期間は米大統領選挙の結果を受けて一時的にボラティリティの高まる局面があったものの、トランプ大統領の政策への期待や米国の景気回復等から株式が堅調に推移し、パフォーマンスを牽引しました。一方、安定型でウェイトの大きい債券については軟調な展開となりました。当ファンドが特徴としているオルタナティブ投資は、2017年6月に比較的大きなドローダウンに見舞われたものの、その後回復し、当期間を通じてはプラスに寄与しました。くわしくは、「投資環境」をご参照ください。

■ 1万口当たりの費用明細 （成長型）

項目	第2期		項目の概要
	2016年9月27日～2017年9月25日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	78円	0.708%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 当期中の平均基準価額は10,996円です。
（投信会社）	(36)	(0.327)	当ファンドの運用、受託銀行への指図、基準価額の算出、運用報告書等の作成等の対価
（販売会社）	(36)	(0.327)	購入後の情報提供、運用報告書等の各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価
（受託会社）	(6)	(0.054)	当ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.034	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数×10,000
（投資信託受益証券）	(4)	(0.034)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	8	0.070	(c) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数×10,000
（保管費用）	(2)	(0.014)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(6)	(0.055)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要するその他の費用
合計	89	0.812	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加設定・一部解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資対象ファンド（投資信託証券）（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。当該投資対象ファンドの直近の計算期末時点における費用明細が取得できるものについては、後掲の「組入上位ファンドの概要」に表示することとしています。

(注) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（安定型）

項目	第2期		項目の概要
	2016年9月27日～2017年9月25日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	77円	0.727%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 当期中の平均基準価額は10,628円です。
（投信会社）	(36)	(0.336)	当ファンドの運用、受託銀行への指図、基準価額の算出、運用報告書等の作成等の対価
（販売会社）	(36)	(0.336)	購入後の情報提供、運用報告書等の各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価
（受託会社）	(6)	(0.056)	当ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	6	0.060	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数×10,000
（投資信託受益証券）	(6)	(0.060)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	5	0.049	(c) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数×10,000
（保管費用）	(1)	(0.012)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(4)	(0.037)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理に要するその他の費用
合計	89	0.835	

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加設定・一部解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

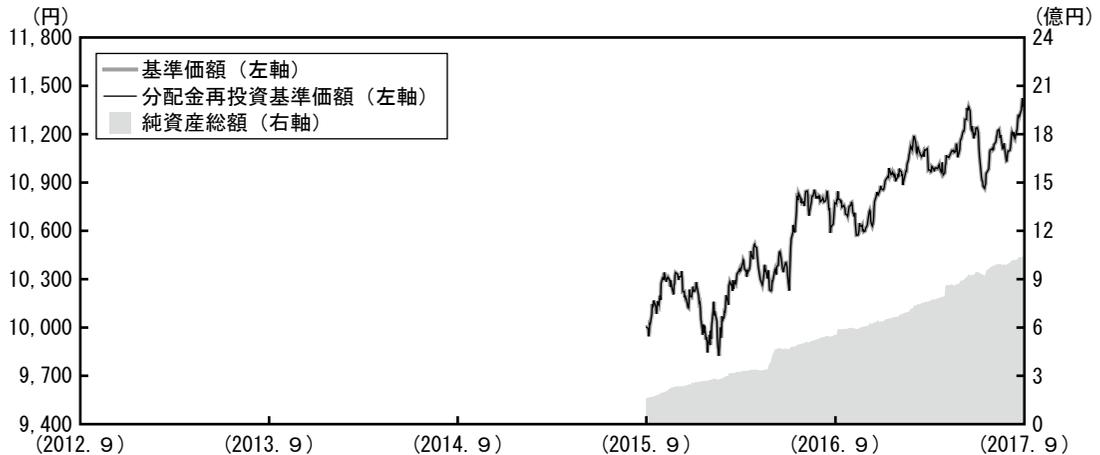
(注) 各金額は、項目ごとに円未満を四捨五入しています。

(注) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資対象ファンド（投資信託証券）（マザーファンドを除く）が支払った費用を含みません。当該投資対象ファンドの直近の計算期末時点における費用明細が取得できるものについては、後掲の「組入上位ファンドの概要」に表示することとしています。

(注) 比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■最近5年間の基準価額等の推移 （成長型）

（2012年9月25日～2017年9月25日）



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を再投資したもとして計算しています。実際のファンドにおいては、分配金を再投資するか否かは受益者ごとに異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、分配金再投資基準価額は一律にそれぞれの受益者の損益状況を示すものではありませんので、ご注意ください。

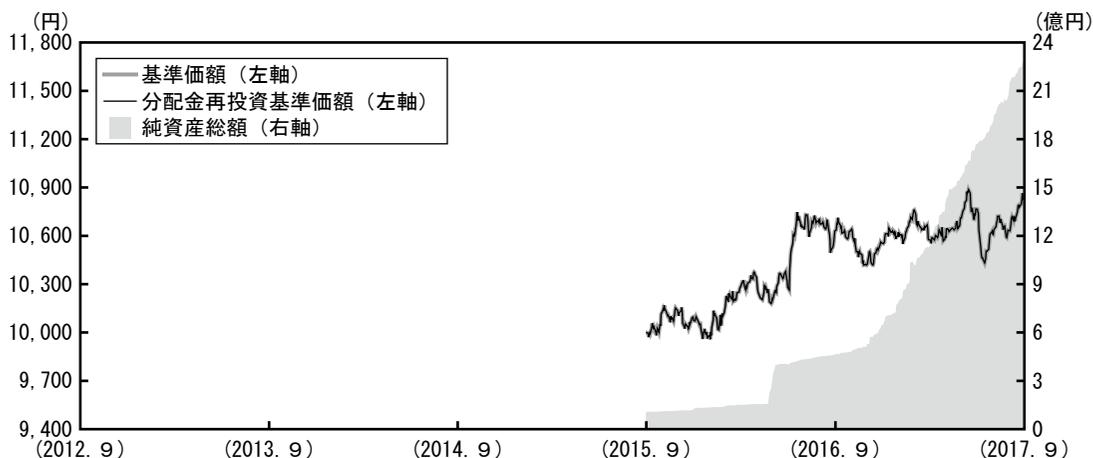
(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

	2015年9月25日 設定日	2016年9月26日 決算日	2017年9月25日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,767	11,386
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	7.7	5.7
純資産総額 (百万円)	163	554	1,040

(注) 各金額は、項目ごとに単位未満を切り捨てています。

（安定型）

（2012年9月25日～2017年9月25日）



(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を再投資したもとして計算しています。実際のファンドにおいては、分配金を再投資するか否かは受益者ごとに異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、分配金再投資基準価額は一律にそれぞれの受益者の損益状況を示すものではありませんので、ご注意ください。

(注) 当ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

	2015年9月25日 設定日	2016年9月26日 決算日	2017年9月25日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,637	10,839
期間分配金合計（税引前） (円)	—	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	6.4	1.9
純資産総額 (百万円)	108	464	2,287

(注) 各金額は、項目ごとに単位未満を切り捨てています。

■投資環境

【先進国株式】

先進国の株式市場は上昇しました。2016年11月に行われた米国大統領選挙が大きなカタリストとなりましたが、選挙前にはリスクイベントとして警戒されていたトランプ氏の当選が結果として好感され、米国市場は急激に上昇しました。その後もトランプ大統領の経済政策への期待が続き、先進国の株式市場は米国に主導される形で堅調な上昇を続けました。

【新興国株式】

新興国の株式市場は上昇しました。トランプ大統領の保護主義的政策への懸念から、大統領選挙後は軟調な展開となりましたが、米景気の回復が追い風となり、2017年に入ってから是非常に力強く上昇しました。米国の金融緩和縮小が緩やかなペースに留まると予想され、金利上昇が限定的なものに留まったことも新興国株式の上昇に寄与しました。

【先進国債券】

先進国債券は2016年末にかけて下落傾向が続きましたが、2017年に入ると緩やかに上昇し、当期間では小幅な下落となりました。米国では金融緩和と政策の縮小が始まっており、欧州でも同政策の出口が意識され始めていますが、ともに緩和縮小ペースは緩やかなものになると予想され、現在のところ大きな金利上昇には繋がっていません。北朝鮮をはじめとして地政学リスクが意識されやすい状況は継続しており、トランプ氏の政権運営には不透明感も強いいため、引き続き安全資産としての債券を買う動きは出やすくなっています。

【REIT市場】

REIT市場は軟調な展開となりました。米国では、トランプ氏当選前後の長期金利上昇によってREITが大きく下落する場面もありましたが、その後回復し、2017年に入ってからは一進一退の展開となりました。日本では、長期金利の上昇や、地政学リスクへの懸念によるリスク・オフの動きなどにより、REITは下落しました。

【オルタナティブ】

当計算期間、ヘッジファンドのパフォーマンスは堅調でした。ヘッジファンド市場の値動きを示す、HFRX Global Hedge Fund Indexは緩やかな上昇を続け、月ベースでは2016年10月を除く全ての月でプラスとなりました。当ファンドの投資対象であるGCIシステムティック・マクロファンド クラスAは、2017年6月に比較的大きなドロウダウンに見舞われたものの、その後回復し、当期間では約8%の上昇となりました。

【為替相場】

円相場は米大統領選挙後に対ドルで大きく円安方向に動き、その後は一進一退する展開となりました。当ファンドは為替リスクをヘッジしているため、これによる影響は限定的です。

■当該投資信託のポートフォリオ

主として各国のETFとヘッジファンド（GCIシステムティック・マクロファンド クラスA）に投資しており、期初に定めた目標配分比率に従って運用を行いました。この目標配分比率は長期間にわたるすばらしい運用実績を残してきたエンダウメント（大学財団）型の投資戦略をお手本に定め、オルタナティブ投資を積極的に活用しつつ、リスクとリターンの源泉を分散・多様化するとともに運用コストにも注意を払い、運用資産の長期的成長を効率的に目指しています。当期は資金運用の効率化を目的として、GCIマネープールマザーファンドの組入を開始しました。組入ファンドの当期末時点における組入比率については、後掲の「当該投資信託のデータ」の「当該投資信託の組入資産の内容」をご参照ください。

■当該投資信託のベンチマークとの差異

各ファンドは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

■分配金

（成長型）

収益分配金については、収益分配方針に基づき、分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳】

（1万口当たり・税引前）

項目	第2期	
	2016年9月27日～2017年9月25日	
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,386

(注) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注) 円未満は切り捨てているため、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

(注) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

（安定型）

収益分配金については、収益分配方針に基づき、分配は行いませんでした。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

【分配原資の内訳】

（1万口当たり・税引前）

項目	第2期	
	2016年9月27日～2017年9月25日	
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	838

(注) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。

また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注) 円未満は切り捨てているため、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

(注) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

当ファンドの決算日である2017年9月25日に、一年に一度の基本資産配分（ターゲット・ポートフォリオ）見直しを行いました。その前提となるビッグ・ピクチャーは、10年程度の時間軸でマクロ環境を俯瞰したのですが、次の通り変更ありません。

第一に、21世紀直前に本格化したグローバル化という世界史的イベントに伴い、ディスインフレ環境が続いています。グローバル化の恩恵を最大限に享受してきた新興国経済の急成長が一段落したこともあり、このディスインフレ環境は長期化するものと考えています。

第二に、新興国圏の成長速度が大きく鈍化した結果、先進国圏と新興国圏の乖離（デカップリング）が金融市場に影響を与える可能性があります。とくに、米国経済が相対的に好調であるとのコンセンサスの下、2014年からドル高基調が続いています。ドル高は、新興国経済にとっては逆風です。1997年のアジア通貨危機がその典型例です。依然として底堅い中国経済ですが、景気循環や人口動態など国内固有の要因に加えて、ドル高という負荷が二重にかかると考えています。

以上のビッグ・ピクチャー自体は今回も不変ですが、2008年の金融危機以降一貫して続いてきた中央銀行の金融緩和策に変化が見られます。この間、債券・株式を含むほとんどの資産価格が上昇し続ける特異な環境でしたが、どのような影響があるのか注視しています。以上のビッグピクチャーをもとに、調整局面の到来に備えて慎重姿勢としてきた基本資産配分を変更せず、引き続き維持いたします。

オルタナティブ投資を得意とする当社の認識では、世界中の利回りが低下し、信用スプレッドがつぶれ、実物など低流動性資産にも大量の資本が向かった結果、流動性プレミアムも失われました。今春以降はボラティリティも過去経験したことのない水準まで下落しています。常識的には、大きな反動・調整が入ってもおかしくありません。

一方、情報技術革新の大波はグローバルな実態経済に大きなインパクトを与えようとしています。高値圏を更新している米国株式市場のバリュエーションに対しては警戒感も根強いのですが、こうした警戒感が払拭されるような株高に対する肯定的センチメントが醸成されない限り、むしろ循環的な株高が継続するのかもしれない。

当戦略は、どのような市場環境であっても、下落リスクを想定の範囲内に抑制しながら、長期的な安定的な資産価値の成長を目指してまいります。

お知らせ

◇約款変更

投資対象の見直しにより、投資信託証券の一つである「日本短期債券ファンド（適格機関投資家限定）」を削除し、代わりに「GCIマネープールマザーファンド」を追加し、文言の整備を行いました。（変更日：2017年4月14日）

◇運用体制の変更

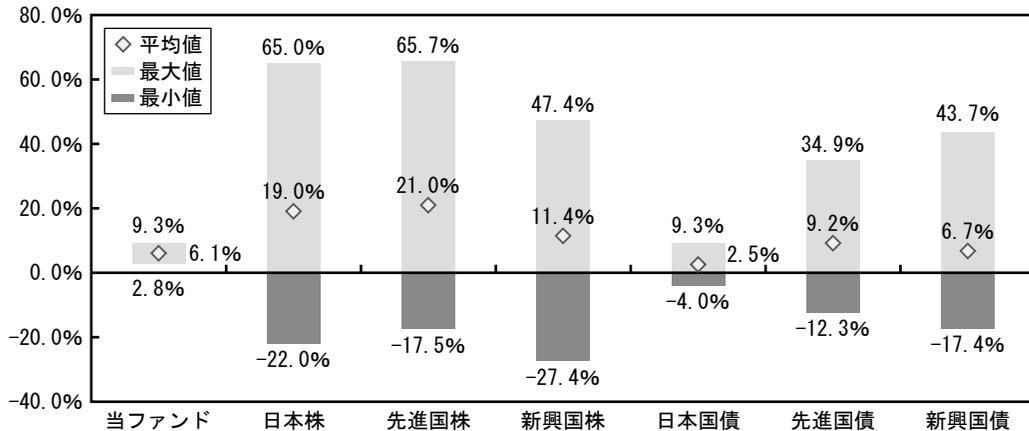
該当事項はありません。

当該投資信託の概要

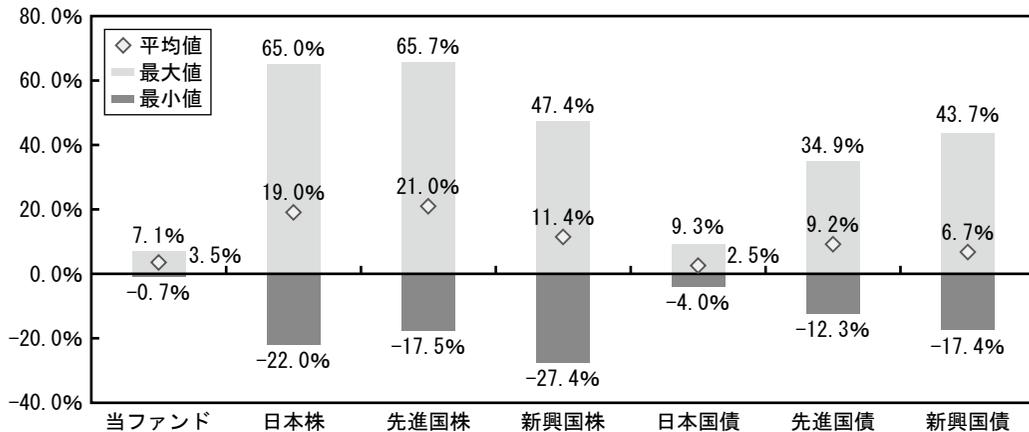
商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	原則として無期限（2015年9月25日設定）	
運用方針	成長型	投資資産のうちリスク資産のウエイトを増やしつつ、伝統的資産に加えてオルタナティブ資産・戦略を活用して分散されたポートフォリオを構築し、信託財産の長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。
	安定型	投資資産のうちリスク資産のウエイトを抑制しつつ、伝統的資産に加えてオルタナティブ資産・戦略を活用して分散されたポートフォリオを構築し、信託財産の長期的な成長を目指して安定的な運用を行います。
主要投資対象	別に定める投資対象ファンド（投資信託証券）を主要投資対象とします。	
運用方法	投資対象ファンド（投資信託証券）を通じて先進国、新興国を含む世界各国の株式、債券、REIT等に分散投資することで、グローバルな経済成長に沿った収益の獲得を目指します。また、グローバル分散投資によりポートフォリオのリスク低減を図ります。	
分配方針	年1回、毎決算時に委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

（成長型）



（安定型）



期間：2012年9月～2017年8月

- (注) 当ファンドについては2016年9月～2017年8月の1年間、代表的な資産クラスについては2012年9月～2017年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示し、各ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものであり、決算日に対応した数値とは異なります。なお、すべての代表的な資産クラスが各ファンドの投資対象とは限りません。
- (注) 当ファンドの年間騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されていますので、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

＜代表的な各資産クラスの指数＞

日本株：TOPIX（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし円ベース）

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（ヘッジなし円ベース）

※海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●指数について

※代表的な資産クラスの騰落率は、データソースが提供する各指数をもとに、株式会社野村総合研究所が計算しています。株式会社野村総合研究所および各指数のデータソースは、その内容について、信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性を含む一切の保証を行いません。

また、株式会社野村総合研究所および各指数のデータソースは、当該騰落率に関連して資産運用または投資判断をした結果生じた損害など、当該騰落率の利用に起因する損害および一切の問題について、何らの責任も負いません。

※TOPIX（配当込み）に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社東京証券取引所に帰属します。

※MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）およびMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。

※NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村証券株式会社に帰属します。

※シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし円ベース）に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。

※JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（ヘッジなし円ベース）に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

（成長型）

◇組入ファンド等

（組入銘柄数：10銘柄）

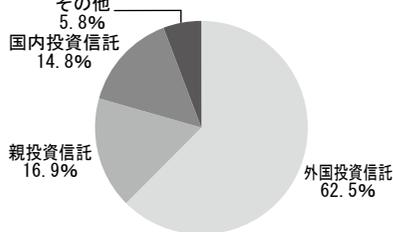
	第2期末 (2017年9月25日)
バンガード・S&P500 ETF	17.6%
GCIマネープールマザーファンド	16.9%
GCIシステマティック・マクロファンド クラスA	16.4%
バンガード・米国トータル債券市場ETF	10.8%
TOPIX連動型上場投資信託	10.1%
バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF（米ドルヘッジあり）	5.2%
バンガード・FTSE先進国市場（除く米国）ETF	5.1%
バンガードREIT ETF	4.9%
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	4.7%
バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF	2.5%
その他	5.8%

（注）組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する各組入ファンドの評価額の比率です。

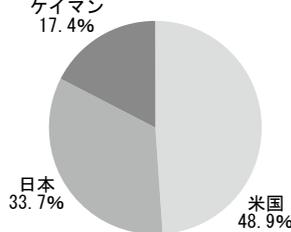
（注）上位3ファンドについては、後掲の「組入上位ファンドの概要」をご参照ください。

（注）その他は現金・未払金等です。

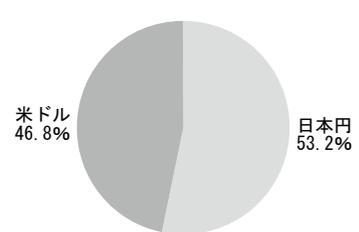
◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



（注）資産別・通貨別配分の比率は当ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合、国別配分の比率は組入資産の評価総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

（注）国別配分は、国・地域別による配分です。

（注）資産別配分について、キャッシュ等については「その他」に含めております。

■純資産等

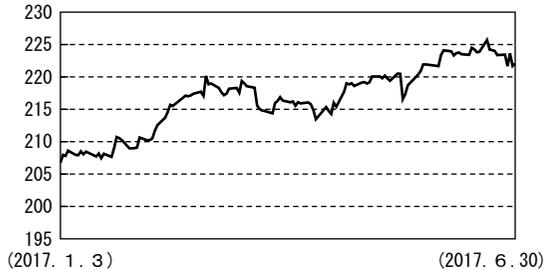
項目	第2期末 2017年9月25日
純資産総額	1,040,440,618円
受益権総口数	913,768,292口
1万口当たり基準価額	11,386円

（注）当期中における追加設定元本額は559,610,248円、期中一部解約元本額は160,948,933円です。

■組入上位ファンドの概要 （成長型） 《バンガード・S&P500 ETF》

◇基準価額の推移

（米・ドル）



◇費用明細

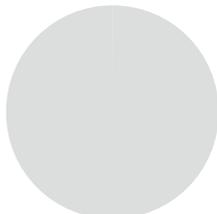
項目	比率
経費率（エクスペンス・レシオ）	0.04%

※一万口当たりの費用明細の情報が取得できないため、経費率（エクスペンス・レシオ）を記載しています。経費率とは、ファンドの平均資産残高に対する費用その他の経費の比率（%）です。経費率は、ファンドの決算ごとに見直され、変動します。

◇組入上位10銘柄

	銘柄名	業種	組入比率 (%)
1	APPLE INC	Technology Hardware, Storage & Periphera	3.6
2	MICROSOFT CORP	Systems Software	2.6
3	AMAZON.COM INC	Internet & Direct Marketing Retail	1.8
4	FACEBOOK INC-A	Internet Software & Services	1.7
5	JOHNSON&JOHNSON	Pharmaceuticals	1.7
6	EXXON MOBIL CORP	Integrated Oil & Gas	1.6
7	JPMORGAN CHASE	Diversified Banks	1.6
8	BERKSHIRE HATH-B	Multi-Sector Holdings	1.5
9	ALPHABET INC-A	Internet Software & Services	1.3
10	ALPHABET INC-C	Internet Software & Services	1.3
組入銘柄数			506銘柄

◇資産別配分



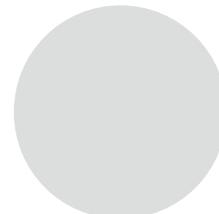
株式
100.0%

◇国別配分



米国
100.0%

◇通貨別配分



米ドル
100.0%

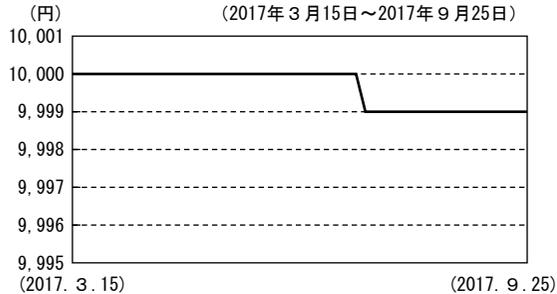
（注）基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間（中間計算期間を含む）のものです。

（注）組入上位10銘柄、費用明細、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日（中間決算日を含む）現在のものです。

（注）組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合、国別配分の比率は組入資産の評価総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

■組入上位ファンドの概要
（成長型）
《GCIマネープールマザーファンド》

◇基準価額の推移



◇1万口当たりの費用明細

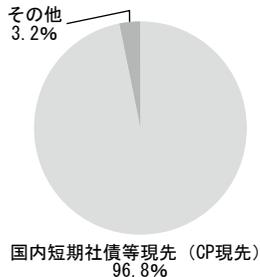
(2017年3月15日～2017年9月25日)

項目	
(a) 売買委託手数料	－円
(b) その他費用 （その他）	－ (－)
合計	－

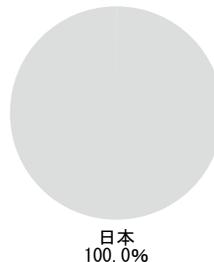
◇組入銘柄

	銘柄名	組入比率 (%)
1	東京建物 08JB CP (CP現先)	71.7
2	アミカスF 07RB CP (CP現先)	14.3
3	アミカスF 07QB CP (CP現先)	10.8
組入銘柄数		3銘柄

◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



(注) 基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注) 1万口当たりの費用明細は、各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。なお、費用項目については3ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

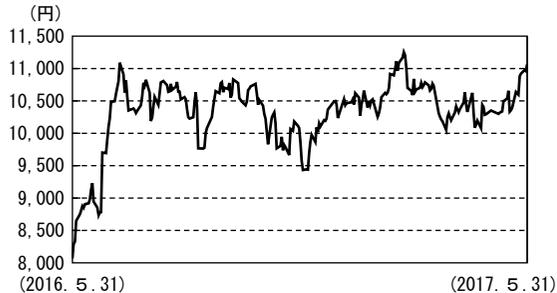
(注) 組入銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注) 組入銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合、国別配分の比率は組入資産の評価総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

■組入上位ファンドの概要 （成長型）

《GCIシステムティック・マクロファンド クラスA》

◇基準価額の推移



◇1万口当たりの費用明細

当該情報の取得が不可能であるため記載していません。

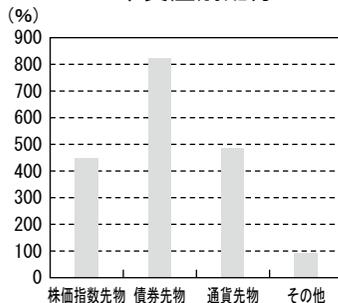
◇組入上位10銘柄

順位	銘柄名	種類	通貨	国	組入比率(%)
1	EURO-BOBL FUTURE Jun17	債券先物	EUR	ドイツ	471.8
2	C\$ CURRENCY FUT Jun17	通貨先物	USD	米国	231.3
3	JPN YEN CURR FUT Jun17	通貨先物	USD	米国	181.2
4	DJIA MINI e-CBOT Jun17	株価指数先物	USD	米国	177.7
5	JPN 10Y BOND (OSE) Jun17	債券先物	JPY	日本	177.7
6	Euro-OAT Future Jun17	債券先物	EUR	ドイツ	173.5
7	NASDAQ 100 E-MINI Jun17	株価指数先物	USD	米国	146.3
8	FTSE 100 IDX FUT Jun17	株価指数先物	GBP	英国	112.6
9	BP CURRENCY FUT Jun17	通貨先物	USD	米国	32.2
10	AUDUSD Crncy Fut Jun17	通貨先物	USD	米国	22.7
組入銘柄数					12銘柄

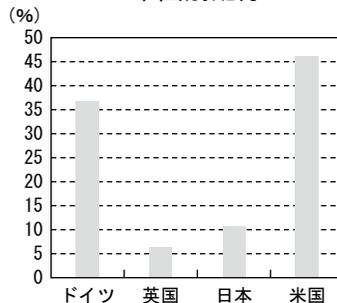
(注) 銘柄は、GCIシステムティック・マクロファンド クラスAが実質保有している銘柄です。

(注) 国は、先物が上場している取引所の所在地です。

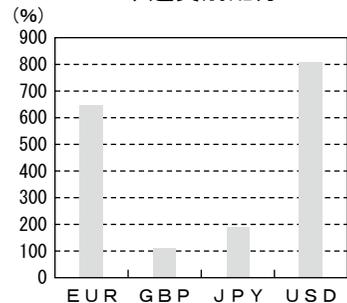
◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



(注) 基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日現在、同ファンドが実質保有している銘柄にかかるものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する各組入銘柄の評価額の割合、国別配分の比率は組入銘柄の評価総額に対する各組入銘柄の評価額の割合です。

(注) 国別配分は、先物が上場している取引所の所在地に関する割合です。

(注) 通貨別配分は、基準通貨に関する割合です。

当該投資信託のデータ

■当該投資信託の組入資産の内容

※全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

（安定型）

◇組入ファンド等

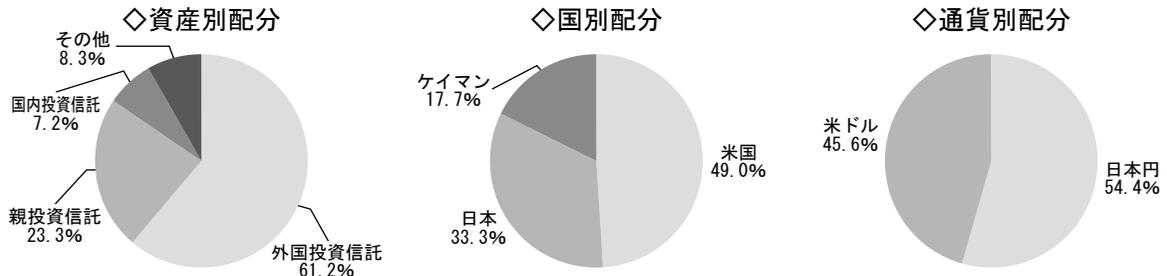
（組入銘柄数：9銘柄）

	第2期末 (2017年9月25日)
GCIマネープールマザーファンド	23.3%
バンガード・米国トータル債券市場ETF	21.2%
GCIシステムティック・マクロファンド クラスA	16.2%
バンガード・トータル・インターナショナル債券ETF (米ドルヘッジあり)	11.5%
バンガード・S&P500 ETF	7.4%
TOPIX連動型上場投資信託	4.9%
バンガード・FTSE先進国市場（除く米国）ETF	2.5%
バンガードREIT ETF	2.4%
NEXT FUNDS 東証REIT指数連動型上場投信	2.3%
その他	8.3%

（注）組入比率は、当ファンドの純資産総額に対する各組入ファンドの評価額の比率です。

（注）上位3ファンドについては、後掲の「組入上位ファンドの概要」をご参照ください。

（注）その他は現金・未払金等です。



（注）資産別・通貨別配分の比率は当ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合、国別配分の比率は組入資産の評価総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

（注）国別配分は、国・地域別による配分です。

（注）資産別配分について、キャッシュ等については「その他」に含めております。

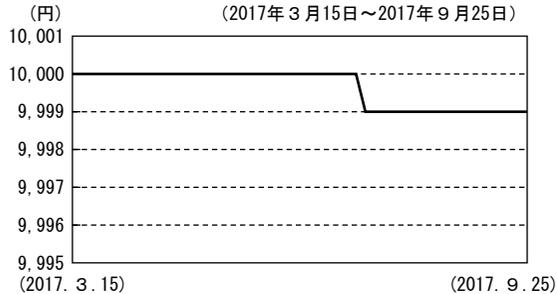
■純資産等

項目	第2期末 2017年9月25日
純資産総額	2,287,791,516円
受益権総口数	2,110,752,312口
1万口当たり基準価額	10,839円

（注）当期中における追加設定元本額は1,817,856,212円、期中一部解約元本額は144,124,939円です。

■組入上位ファンドの概要
（安定型）
《GCIマネープールマザーファンド》

◇基準価額の推移



◇1万口当たりの費用明細

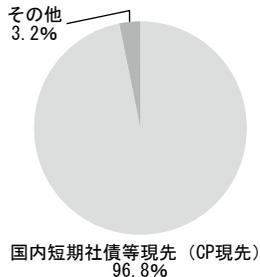
(2017年3月15日～2017年9月25日)

項目	
(a) 売買委託手数料	－円
(b) その他費用 (その他)	－ (－)
合計	－

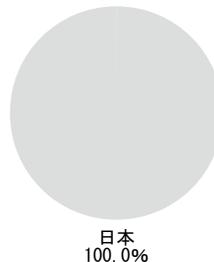
◇組入銘柄

	銘柄名	組入比率 (%)
1	東京建物 08JB CP (CP現先)	71.7
2	アミカスF 07RB CP (CP現先)	14.3
3	アミカスF 07QB CP (CP現先)	10.8
組入銘柄数		3銘柄

◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



(注) 基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注) 1万口当たりの費用明細は、各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。なお、費用項目については4ページ（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

(注) 組入銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

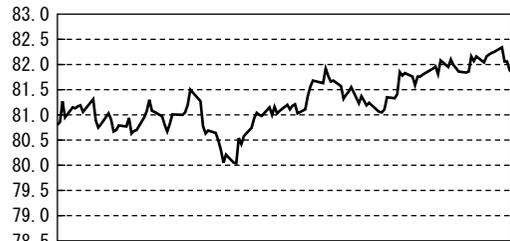
(注) 組入銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合、国別配分の比率は組入資産の評価総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

■組入上位ファンドの概要 （安定型）

《バンガード・米国トータル債券市場ETF》

◇基準価額の推移

（米・ドル）



(2017. 1. 3)

(2017. 6. 30)

◇費用明細

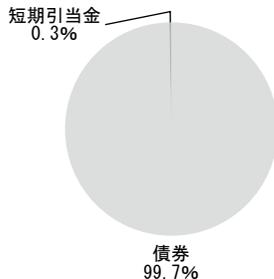
項目	比率
経費率（エクスペンス・レシオ）	0.05%

※一万口当たりの費用明細の情報が取得できないため、経費率（エクスペンス・レシオ）を記載しています。経費率とは、ファンドの平均資産残高に対する費用その他の経費の比率（%）です。経費率は、ファンドの決算ごとに見直され、変動します。

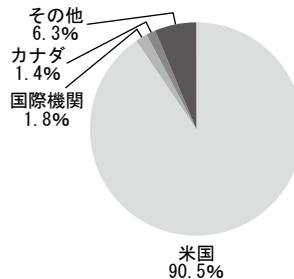
◇組入上位10銘柄

	銘柄名	種類	通貨	組入比率（%）
1	Federal National Mortgage Assn. 3.5% 10/01/2018-07/01/2047	モーゲージ証券	米ドル	2.4
2	Federal National Mortgage Assn. 3% 09/01/2020-07/01/2047	モーゲージ証券	米ドル	2.4
3	Government National Mortgage Assn. 3.5% 09/20/2025-08/01/2047	モーゲージ証券	米ドル	2.4
4	Government National Mortgage Assn. 3% 01/15/2026-07/01/2047	モーゲージ証券	米ドル	1.8
5	Federal Home Loan Mortgage Corp. 3% 03/01/2021-07/01/2047	モーゲージ証券	米ドル	1.7
6	Federal National Mortgage Assn. 4% 06/01/2018-07/01/2047	モーゲージ証券	米ドル	1.6
7	Federal Home Loan Mortgage Corp. 3.5% 09/01/2020-07/01/2047	モーゲージ証券	米ドル	1.5
8	Government National Mortgage Assn. 4% 08/15/2018-07/01/2047	モーゲージ証券	米ドル	1.2
9	Federal Home Loan Mortgage Corp. 4% 03/01/2018-07/01/2047	モーゲージ証券	米ドル	1.0
10	Federal National Mortgage Assn. 2.5% 01/01/2023-10/01/2046	モーゲージ証券	米ドル	0.7
組入銘柄数				8,174銘柄

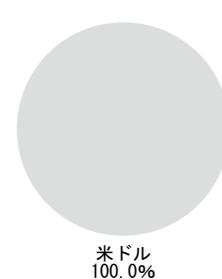
◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



（注）基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間（中間計算期間を含む）のものです。

（注）組入上位10銘柄、費用明細、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日（中間決算日を含む）現在のものです。

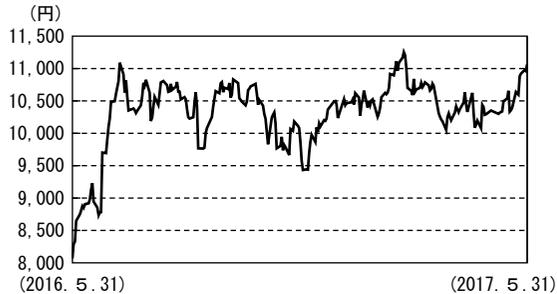
（注）組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分の比率は、組入ファンドの純資産総額に対する各組入資産の評価額の割合です。

■組入上位ファンドの概要

（安定型）

《GCIシステムティック・マクロファンド クラスA》

◇基準価額の推移



◇1万口当たりの費用明細

当該情報の取得が不可能であるため記載していません。

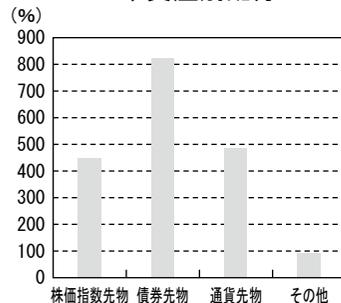
◇組入上位10銘柄

	銘柄名	種類	通貨	国	組入比率(%)
1	EURO-BOBL FUTURE Jun17	債券先物	EUR	ドイツ	471.8
2	C\$ CURRENCY FUT Jun17	通貨先物	USD	米国	231.3
3	JPN YEN CURR FUT Jun17	通貨先物	USD	米国	181.2
4	DJIA MINI e-CBOT Jun17	株価指数先物	USD	米国	177.7
5	JPN 10Y BOND (OSE) Jun17	債券先物	JPY	日本	177.7
6	Euro-OAT Future Jun17	債券先物	EUR	ドイツ	173.5
7	NASDAQ 100 E-MINI Jun17	株価指数先物	USD	米国	146.3
8	FTSE 100 IDX FUT Jun17	株価指数先物	GBP	英国	112.6
9	BP CURRENCY FUT Jun17	通貨先物	USD	米国	32.2
10	AUDUSD Crncy Fut Jun17	通貨先物	USD	米国	22.7
組入銘柄数					12銘柄

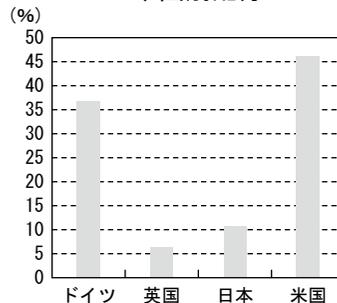
(注) 銘柄は、GCIシステムティック・マクロファンド クラスAが実質保有している銘柄です。

(注) 国は、先物が上場している取引所の所在地です。

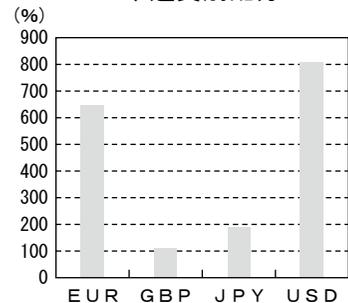
◇資産別配分



◇国別配分



◇通貨別配分



(注) 基準価額の推移は、組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは、組入ファンドの直近の決算日現在、同ファンドが実質保有している銘柄にかかるものです。

(注) 組入上位10銘柄、資産別・通貨別配分の比率は組入ファンドの純資産総額に対する各組入銘柄の評価額の割合、国別配分の比率は組入銘柄の評価総額に対する各組入銘柄の評価額の割合です。

(注) 国別配分は、先物が上場している取引所の所在地に関する割合です。

(注) 通貨別配分は、基準通貨に関する割合です。